



うまい・きれい かほく米づくりの運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術	目標	チェック
1~8	1. 播種量（うす播き励行） 2. 育苗日数（健苗育成） 3. 植付本数（細植え励行） 4. 栽植密度（優良茎確保） 5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上） 6. 田植え時期（早植え防止） 7. 中干し・溝切り（遅発分げつ抑制） 8. 除草・防除（畦畔等除草・カメムシ防除徹底）	
9	水管理 （飽水管理の徹底） ・中干し後から出穂までの約 1か月 （コシヒカリ）の飽水管理 ・出穂から刈取り直前までの 1か月以上 の飽水管理	
10	刈取時期 （適期刈取りの励行） ・籾の黄化程度に応じた刈取り	

栽培履歴簿と自己点検（GAP）シートを記帳し、最寄りの支店へ必ず提出してください。

今月のポイント1 適期刈り取りに努めましょう。

<コシヒカリの刈取適期>

	平坦地帯	山間地帯
予想刈取適期	9月2日～9月6日	9月5日～9月7日

籾黄化率 80～90%
籾水分 25%

登熟積算気温（高温年）980℃
（登熟積算気温：出穂してからの日平均気温の合計）

※刈り取り時には必ず黄化率を確認して適期に収穫しましょう。

- 籾黄化率80%から刈り始めましょう。
- 遅刈りは胴割粒発生の原因となります。



JAの営農の手引きの裏表紙を参考にしてください。

今月のポイント2 乾燥・調製は適正に行い、乾燥ミスによる胴割粒の発生を無くそう。
⇒営農の手引き45ページも参照ください。

<乾燥作業の注意点>

- ① 品種が変わるごとに、コンバイン、乾燥・調製施設の清掃をしっかりと行う。（異品種混入防止）
- ② 水分計（乾燥機の自動水分計も含む）は事前に調整・点検を行う。
- ③ **収穫した生籾を長時間放置せず、直ちに乾燥機に入れる。（ヤケ米防止）**
- ④ はり込み後1～2時間の送風を行い、生籾の水分を均一化し、引き続き本乾燥を行う。（胴割粒防止）
- ⑤ **急激な乾燥や高温乾燥は行わない。（胴割粒防止）**
- ⑥ 水分過多・過乾燥に注意し、水分は14.5～15.0%目標に仕上げる。

<籾摺り・選別・計量>

- ① JAに出荷される場合は、**皆掛け重量 紙袋(30.5kg以上) フレコン(1,092kg以上)の量目不足にならないよう注意する。**
・近年、皆掛け重量の量目不足のものが見受けられますので、注意してください。
・自動計量器の点検を必ず行ってください。
- ② 肌ズレ米の防止に努める。
・籾摺り機のロールの間隔調整は適正に行ってください。
・乾燥後一昼夜置いて穀温が常温に戻ってから籾摺りを開始します。
- ③ 整粒歩合80%以上にするため、適正網目を使用する。
・未熟粒を除くため、**ライスグレーダーの網目はL～LLサイズ(1.85～1.90mm)**を使用してください。
・適正な流量で選別してください。

裏面に続きます

栽培履歴簿と自己点検（GAP）シートを記帳し、最寄りの支店へ提出してください。

各施設のコミヒカリの荷受けは、9月2日（火）より開始します。

刈取後、即秋起こしで次年度のガス沸きをなくそう。

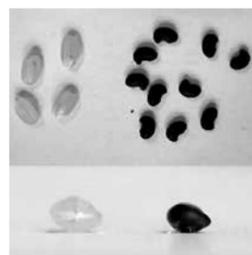
クサネムは、刈取前に抜き取ってください。

注意事項

① **クサネムは刈取前に必ず取り除くこと。**

- ・クサネムの種子はお米と同じくらいの大きさのため、
 籾摺り時に取り除くことが困難です。
- ・クサネムの種子は検査時に異種穀粒とみなされ、等級を下げる原因になります。

大きさ
厚み



玄米 クサネム種子



クサネム

② **稲こうじ病にかかった籾も刈取前に取り除くこと。**

混入している場合は規格外となる。

- ③ 機械の点検整備・農作業安全に努める。
- ④ 玄米の盗難防止のため、倉庫の施錠等、対策をとってください。

刈取後の雑草対策

雑草名	除草剤名	10a 当たり散布量	散布時期
イボクサ オモダカ クログワイ コウキヤガラ等	ラウンドアップ マックスロード	原液 1ℓ を 水25~50ℓ で希釈	雑草の生育期 (雑草が、わらの上まで生育してから散布してください。)
ヒエ	石灰窒素	40kg	稲刈り後 1 週間以内 (ヒエが発芽し、その後、寒さで枯死します。)

除草前に耕起すると、ちぎれた球根や茎が土中に混ざりこみ、除草作業が困難になります。
 石灰窒素を散布した後、1 か月間は耕起しないでください。
 石灰窒素は、窒素成分が含まれるので、翌春の基肥量を 2 割程度減らしてください。

元気が見える土づくり対策

JA石川かほくでは、「土づくり運動」に取り組んでいます。

① **秋の好天のうちに以下の資材を散布し耕起する。(秋起こし)**

- ・土づくり資材の施用：かほく^{だいちめぐみ}大地の恵 Fe 3袋 (60kg) /10a
- ・有機物の投入：堆肥 2トン/10a

② **JA石川かほく管内の地力は低い状態です。**

- ・土壌酸度は、目標値よりやや低めです。
- ・土壌中の有機物(腐植)が少ない傾向にあります。
- ・土壌中のリン酸、ケイ酸も目標値より低い状態です。

令和6年度 JA石川かほく管内土壌分析平均値

項目	現状	目標値	項目	現状	目標値
土壌酸度 (pH)	5.2	5.5~6.5	可給態リン酸含量	11.9mg	20mg
腐植含量	2.5%	3.0%	可給態ケイ酸含量	19.8mg	30mg

・自然災害等(イノシシ被災含む)によって減収が予想される場合には、収穫前に石川県農業共済組合(TEL:239-2555)に被害申告を行ってください。